

⑫ 公開特許公報(A) 平3-289465

⑮ Int.Cl.⁵
B 65 D 77/36識別記号 庁内整理番号
7127-3E

⑯ 公開 平成3年(1991)12月19日

審査請求 未請求 請求項の数 5 (全10頁)

⑰ 発明の名称 包装体のラベル封緘方法並びにラベル封緘された包装体の開封方法
及び不正開封防止方法

⑱ 特 願 平2-89537

⑲ 出 願 平2(1990)4月3日

⑳ 発 明 者 小 野 重 彦 京都府京都市北区鷹峯藤林町1-35

㉑ 出 願 人 小 野 重 彦 京都府京都市北区鷹峯藤林町1-35

㉒ 代 理 人 弁理士 藤 本 昇

明 細 書

1. 発明の名称

包装体のラベル封緘方法並びにラベル封緘された包装体の開封方法及び不正開封防止方法

2. 特許請求の範囲

1. ラベル1を貼着することにより封緘対象部位10, 11を封緘する包装体8の封緘方法に於いて、前記ラベル1の裏面の両側には接着部4a, 4aが設けられて、且つ該接着部4a, 4aの相互間には非接着部5が設けられ、しかも該非接着部5に沿った位置には、該非接着部5を帯状に破断するための帯状破断手段3, 3が設けられたラベル1を、前記包装体8の封緘対象部位10, 11の双方に跨って、且つ前記ラベル1の裏面の両側に設けられた接着部4a, 4aのどちらか一侧を前記封緘対象部位10, 11の何れかの一方に貼着し、且つ前記ラベル1の接着部4a, 4aの他側を前記封緘対象部位10, 11の他方に貼着することで包装体8を封緘することを特徴とする包装体のラベル封緘方法。

2. 封緘対象部位10, 11の双方に跨がって封緘用のラベル1が貼着されて封緘された包装体8の、前記ラベル1を剝離することにより前記封緘対象部位10, 11を開封する包装体8の開封方法に於いて、裏面の両側に接着部4a, 4aが設けられて、且つ該接着部4a, 4aの相互間には、非接着部5が設けられ、しかも該非接着部5に沿った位置には、該非接着部5を帯状に破断するための帯状破断手段3, 3が設けられたラベル1を、前記封緘対象部位10, 11の双方に跨って、且つ前記ラベル1の裏面の両側に設けられた接着部4a, 4aのどちらか一侧を前記封緘対象部位10, 11の何れかの一方に貼着し、且つ前記ラベル1の接着部4a, 4aの他側を前記封緘対象部位10, 11の他方に貼着することで包装体8を封緘し、且つ開封時には、前記ラベルの非接着部5を帯状に破断することで、同時に前期包装体を開封することを特徴とするラベル封緘された包装体の開封方法。

3. 請求項2記載のラベル封緘された包装体の開

封方法に於いて、ラベル1の非接着部5に相当する該ラベル1の裏面位置には、両側の接着部4a、4aよりも弱い接着力でラベル1の裏面を封緘対象部位10、11に仮接着することを特徴とするラベル封緘された包装体の開封方法。

4. 封緘対象部位10、11に封緘用のラベル1を貼着せしめて封緘される包装体の不正開封防止方法であって、裏面の両側に接着部4a、4aが設けられて、且つ該接着部4a、4aの相互間には、非接着部5が設けられ、しかも該非接着部5に沿った位置には、該非接着部5を帯状に破断するための帯状破断手段3、3が設けられて、且つ表面には、前記裏面の非接着部5及び両側の接着部4a、4aとに跨がる位置にバーコード12が設けられたラベル1を、前記封緘対象部位10、11の双方に跨って、且つ前記ラベル1の裏面の両側に設けられた接着部4a、4aのどちらか一侧を前記封緘対象部位10、11の何れかの一方に貼着し、且つ前記ラベル1の接着部4a、4aの他側を前記封緘対象部位10、11の他方に貼着すること

で包装体8を封緘し、且つ開封時には、前記ラベルの非接着部5を帯状に破断することで同時にバーコードを破断することを特徴とするラベル封緘された包装体の不正開封防止方法。

5. 請求項4記載のラベル封緘された包装体の不正開封防止方法であって、ラベル1の非接着部5に相当する該ラベル1の裏面位置には、両側の接着部4a、4aよりも弱い接着力でラベル1の裏面を封緘対象部位10、11に仮接着することを特徴とするラベル封緘された包装体の不正開封防止方法。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明はラベル貼着による食品等の包装体の封緘方法並びにラベル封緘された包装体の開封方法及び不正開封防止方法に関する。

(従来の技術)

従来、この種包装体にラベルを用いての封緘並びに開封を行う方法に於いては、第12図に示す様に、封緘時に一旦貼着したラベル1eを、開封時に

剝離する方法がある。即ち、この方法は、被包装物9を包囲する包装体8の封緘片11を本体表面部10に重ね合わせた状態で、合成樹脂等の小片状より形成されて、且つ裏面の全面に接着剤4eが塗着されてなるラベル1eを、前記封緘対象の両部位10、11に跨がって貼着することで、前記包装体8を封緘状態に把持し、且つ開封時には、前記ラベル1eを剝離することで、包装体8を開封することができるものである。

(発明が解決しようとする課題)

しかしながら、前記従来に於けるラベルを用いての封緘方法及び開封方法に於いては、下記の様な問題点があった。

- (1) 先ず、包装体の封緘を確実にせんとして封緘対象部位10、11に対するラベルの接着力を大きくした場合には、その開封時にラベル1eを封緘対象部位10、11から剝離させる作業が非常に困難となって、その開封作業性が非常に悪くなる難点が生じていた。

- (2) 又、ラベル1eが接着された包装体の包材が、

強度の小さい軟質フィルム或いは紙等の場合に於いては、ラベル1eを無理に剝離させることによってこれら包材を不体裁に破損させる不都合をも生じていた。

而して、上記難点を解消するにはラベルの接着力を弱めればよいが、これでは確実な封緘が行えず、食品等の包装体の封緘には適用し難い問題がある。

- (3) 更に、上記の如く開封時の難点を解消させるためだけに、ラベルの接着力を弱めるという安易な方法で食品等の包装体の封緘に使用した場合には、例えば、不正者等が包装体に接着されたラベル1eを容易に剝離した後に、毒等を混入し、且つ前記ラベル1eとは異なる他のラベルを用いて再度貼着し封緘することも可能であり、よって、該ラベル1eの接着状態が余程不自然でない限りは、該ラベル1eの色彩やサイズ等が正規のラベルと多少相違しても、該ラベル1eが不正ラベルであることを容易に発見することはできない。

本発明は、上記種々の問題を全て解決するものであり、ラベルを包装体に対して強固に接着して封緘された場合であっても、開封時には包装体の包材等を損傷させることもなく、容易に開封作業が行えると同時に、開封前に於いては、毒物混入等による不正開封をも確実に防止できることを課題とするものである。

(課題を解決するための手段)

本発明は、上記の課題を解決するために以下の手段を講じたものである。

即ち、第1に本発明は、ラベル1を貼着することにより封緘対象部位10、11を封緘する包装体8の封緘方法に於いて、前記ラベル1の裏面の両側には接着部4a、4aが設けられて、且つ該接着部4a、4aの相互間には非接着部5が設けられ、しかも該非接着部5に沿った位置には、該非接着部5を帯状に破断するための帯状破断手段3、3が設けられたラベル1を、前記包装体8の封緘対象部位10、11の双方に跨って、且つ前記ラベル1の裏面の両側に設けられた接着部4a、4aのどちらか一側

を前記封緘対象部位10、11の何れかの一方に貼着し、且つ前記ラベル1の接着部4a、4aの他側を前記封緘対象部位10、11の他方に貼着することで包装体8を封緘する方法にある。

第2に本発明は、封緘方法封緘対象部位10、11の双方に跨がって封緘用のラベル1が貼着されて封緘された包装体8の、前記ラベル1を剝離することにより前記封緘対象部位10、11を開封する包装体8の開封方法に於いて、裏面の両側に接着部4a、4aが設けられて、且つ該接着部4a、4aの相互間には、非接着部5が設けられ、しかも該非接着部5に沿った位置には、該非接着部5を帯状に破断するための帯状破断手段3、3が設けられたラベル1を、前記封緘対象部位10、11の双方に跨って、且つ前記ラベル1の裏面の両側に設けられた接着部4a、4aのどちらか一側を前記封緘対象部位10、11の何れかの一方に貼着し、且つ前記ラベル1の接着部4a、4aの他側を前記封緘対象部位10、11の他方に貼着することで包装体8を封緘し、且つ開封時には、前記ラベルの非接着部5を帯状に

破断することで、同時に前記包装体を開封する方法にある。

第3に本発明は、上記方法からなるラベル封緘された包装体の開封方法に於いて、ラベル1の非接着部5に相当する該ラベル1の裏面位置には、両側の接着部4a、4aよりも弱い接着力でラベル1の裏面を封緘対象部位10、11に仮接着する方法にある。

第4に本発明は、封緘対象部位10、11に封緘用のラベル1を貼着せしめて封緘される包装体の不正開封防止方法であって、裏面の両側に接着部4a、4aが設けられて、且つ該接着部4a、4aの相互間には、非接着部5が設けられ、しかも該非接着部5に沿った位置には、該非接着部5を帯状に破断するための帯状破断手段3、3が設けられて、且つ表面には、前記裏面の非接着部5及び両側の接着部4a、4aとに跨る位置にバーコード12が設けられたラベル1を、前記封緘対象部位10、11の双方に跨って、且つ前記ラベル1の裏面の両側に設けられた接着部4a、4aのどちらか一側を前記封緘

対象部位10、11の何れかの一方に貼着し、且つ前記ラベル1の接着部4a、4aの他側を前記封緘対象部位10、11の他方に貼着することで包装体8を封緘し、且つ開封時には、前記ラベルの非接着部5を帯状に破断することで、同時にバーコードを破断する方法にある。

第5に本発明は、上記方法からなるラベル封緘された包装体の不正開封防止方法であって、ラベル1の非接着部5に相当する該ラベル1の裏面位置には、両側の接着部4a、4aよりも弱い接着力でラベル1の裏面を封緘対象部位10、11に仮接着する方法にある。

(作用)

本発明に於ける、包装体のラベル貼着による封緘方法は上記の様な方法からなるために、先ず、包装体8の封緘対象部位10、11の双方に跨がってラベル1の裏面両側に設けられた接着部4a、4aの双方を貼着することで、前記封緘対象10、11を開口して封緘することができる。

次に、前記ラベルにより封緘された包装体を開

封する場合に於いては、ラベル1に設けられた非接着部5の一端部を引っ張ることで、該非接着部5は帯状破断手段3、3を介して容易に前記ラベルを帯状に破断することができる。

従って、上記の様に帯状に破断されたラベル1は、前記包装体8の封緘機能を失うことになり、よって、前記封緘機能が失われた該包装体8は瞬時に開封することになる。

更に、上記の方法に於いて、ラベル1の非接着部5に相当する該ラベル1の裏面位置に、両側の接着部4a、4aよりも小さい接着力で該ラベルを包装体8の封緘対象部位10、11に仮接着することでその封緘状態を一層確実にすることができる。

尚、上記の如く弱い接着力で該ラベルを包装体8の封緘対象部位10、11に仮接着した場合に於いても、開封時には該ラベル1の弱い接着力を有する帯状破断手段3、3を帯状に破断することで容易に包装体8を開封することができる。

次に、ラベル封緘された包装体の不正開封防止方法に於いては、封緘時に貼着されたラベル1の

裏面の非接着部5とその両側の接着部4a、4aとに跨る該ラベル1の表面部に、予めバーコード12が設けられてることから、開封前に前記ラベル1の帯状破断手段3、3が設けてなる非接着部5を帯状に破断して不正に開封すると、該帯状分断手段3、3と同時にバーコード12も破断されることになる。

従って、破断されたラベル1及びバーコード12は再使用が困難となり、特にバーコード12を元の適正なデータ状態に復元することは不可能となる。

而して、別の代替えラベルを貼着しても、破断された正規のラベルと全く同一データのバーコード12の表示をすることも困難なことから、開封前に破断される不正開封を確実に防止することができる。

(実施例)

以下、本発明の実施例を図面に従って説明する。

(包装体のラベル封緘方法の場合)

先ず、本発明に於ける封緘方法をお握り包装体に適用した場合について説明する。

第1図に示すのは、内部にお握り9が収納されてなるお握り包装体8であり、封緘対象部位10、11の双方に跨ってラベル1を貼着するのであるが、係るラベル1は第2図の様に、合成樹脂フィルム等からなり、その裏面の両側には接着部4a、4aが設けられ、且つ該接着部4a、4aの相互間には、非接着部5が設けられて、且つ使用前に於いては、剝離紙6が貼付されてなる。更に、該非接着部5の一侧、即ち、前記ラベル1の略中央位置の一侧には、一体的に突設された摘み片2が設けられてなる。しかも該摘み片2が突設された前記非接着部5に沿った位置には、該非接着部5を帯状に破断するためのミシン目3、3が二条平行に設けられてなるものである。

尚、上記ラベル1は、貼着時に於いて、裏面に貼付されてなる剝離紙6を剝離して、該ラベル1裏面の両側に設けられた接着部4a、4aの各々を、前記包装体8の封緘対象部位10、11の双方に跨って貼着することで、お握り包装体8を封緘してなるものである。

従って、ラベル1の裏面両側の接着部4a、4aの接着力を強くすれば、より堅固に把持した状態で封緘を維持することができる。

(ラベル封緘された包装体の開封方法の場合)

次に、本発明に於ける開封方法をお握り包装体に適用した場合について説明する。

第1図に示すのは、内部にお握り9が収納されてなるお握り包装体8の封緘状態であり、封緘対象部位10、11の双方に跨ってラベル1が貼着されてなる。係るラベル1は第2図の様に、合成樹脂フィルム等からなり、その裏面の両側には接着部4a、4aが設けられ、且つ該接着部4a、4aの相互間には、非接着部5が設けられて、且つ使用前に於いては、剝離紙6が貼付されてなる。更に、該非接着部5の一侧、即ち、前記ラベル1の略中央位置の一侧には、一体的に突設された摘み片2が設けられなる。しかも該摘み片2が突設された前記非接着部5に沿った位置には、該非接着部5を帯状に破断するためのミシン目3、3が二条平行に設けられてなるものである。

尚、上記ラベル1は、使用時に於いて、裏面に貼付されてなる剝離紙6を剝離して、該ラベル1裏面の両側に設けられた接着部4a, 4aの各々を、前記包装体8の封緘対象部位10, 11の双方に跨って貼着することで、お握り包装体8を封緘してなるものである。

次に、上記の様にしてお握りが包装された状態に於いて、次に、お握り包装体8を開封する場合について説明する。

先ず、第3図の様に、前記包装体8に貼着されてなるラベル1の略中央位置に一体的に設けられた摘み片2を把持して引っ張ると、前記ラベル1は該摘み片2が設けられた部位より二条平行に連設されたミシン目3, 3に沿って破断されることになる。

よって、前記ラベル1が破断された包装体8の封緘対象部位10, 11の双方は封緘機能が失われて、第4図の様に、該包装体8は開封することになるのである。

尚、以上の様に、前記ラベル1は破断すること

になるが、該ラベル1に二条平行に連設されたミシン目3, 3の相互間に形成された非接着部5は、包装体8に対して非接着状態であるから、ミシン目3, 3間の破断分難は極めて容易に行えることになる。

従って、例えば包装体8が薄手のフィルムの様に強度の弱い材質であっても、該包装体8を損傷することも無くなることになる。

しかも、前記摘み片2の裏面部も袋体8に対して非接着状態であることからその摘み上げ作業も容易に行えることになる。

尚、上記実施例於では、封緘対象部位を有する包装体の、該封緘対象部位の双方に跨がって、ラベルの裏面両側の接着部の各々を貼着した該包装体の開封方法に適用したが、本発明はこれに限定されない。

例えば、第5図(イ)の様に、ラベル1の非接着部5に相当する該ラベル1の中央部分の裏面位置に、両側の接着部4a, 4aよりも小さい接着力を有した場合には、シュリンク包装等の包装体13に

も適用することが出来る。

即ち、同図(ロ)の様に、フィルムの一面部に予め破切線13b等を刻設し、且つ該ラベル1の裏面中央の小さい接着力を有する部分5aが該破切線13bにより形成された一片13aを覆う如く該ラベル1をフィルム面に貼着することで、開封時に於いては同図(ハ)の様に、ラベル1の摘み片2を引っ張ってミシン目3, 3を帯状に破断することにより、前記一片13aは該ラベル1の裏面に貼付されたままで同時に前記フィルム面を容易に破断して開封することができる。

而して、上記前者及び後者の何れの場合に限らず、封緘された包装体を容易に早く簡単に開封することができるのである。

(ラベル封緘された包装体の不正開封防止方法の場合)

次に、本発明に於ける不正開封防止方法を、上記の如くお握り包装体に適用した場合について説明する。

先ず、第6図の様に、前記と同様の、裏面両側

に接着部4a, 4aが設けられて、且つ該接着部4a, 4aの相互間には二条平行のミシン目3, 3が連設された非接着部5が設けられたラベル1を、上述した実施例と同様に、お握り包装体8の封緘対象部位10, 11の双方に跨がって貼着し、該包装体8を封緘するのであるが、この時、前記ラベル1の表面には、第7図に示す様に、前記ミシン目3, 3の相互間に跨がって、且つ該ミシン目3, 3の各々を横断する如くバーコード12が設けられてなる。

従って、第8図の様に、開封前に於いて、不正者等がお握り包装体8を開封すべく貼着されたラベル1のミシン目3, 3を介して非接着部5を破断すると、同時に前記バーコード12も破断されることになる。

よって、破断されたバーコード12は再度包装体8に貼着してもズレが発生する。従って、係るバーコード12は、例えば購入時に於いて、店内のレジで適切に読み取ることができないことから、包装体8が一旦開封されたものであるか否かが確実に

に判別できることになる。

更に、該バーコード12は種々の管理データにより構成されてなることから、別の代替えラベルを貼着しても破断された正規のラベル1と全く同一データのバーコード12を表示することは不可能である。

従って、上記の様なことから、開封前に於いては、封緘されてなる包装体の不正開封防止を行なうことができる。

更に、上記実施例に於いて、第5図(イ)に示す様に、ラベル1の裏面の非接着部5に、両側の接着分4a、4aよりも弱い接着力を有する部分5aを設けて、該ラベル1を前記封緘対象部位10、11に貼着した場合には、第9図の様に、お握り包装体8及びラベル1の摘み片2やラベル1の中央部分が袋体表面から浮いた状態になることが防止され、他の物品との引っ掛けりによりラベル1が不用意に剝離したり或いは損傷する様な虞れも解消されて封緘状態を一層確実にすることができる。

(包装体のラベル封緘方法並びにラベル封緘され

た包装体の開封方法及び不正開封防止方法に於ける他の実施例)

上述の各実施例に於いて、ラベル1の一側部に摘み片2を設けたが、係る摘み片2は必ずしも設ける必要はない。第10図(イ)の様に、ラベル1を単なる矩形状等に形成してもよく、更に、同図(ロ)の如く、ラベル1の内面部に摘み片2が切り欠き部2aを介して設けられていてもよい。

更に、ラベル1はその形状を矩形以外の多角形又は円形状に形成してもよく、例えば、同図(ハ)の様に、摘み片2が菱形形状のラベル1の対角面2bに沿って設けられていてもよい。

尚、上記実施例に於いては、お握り包装体に限定して適用したが、本発明はこれに限定されない。

例えば、第11図(イ)の様に、サンドイッチ等の包装体8でもよく、又同図(ロ)の用に、箱状体8aであってもよい。その他ラベル1に設けられるバーコード12やラベル1の破断手段3等の具体的な構成、又被包装物の種類やその包装形態等も一切限定されないことは言うまでもない。

(発明の効果)

叙上の様なことから、本発明に於ける封緘方法では、包装体の封緘対象部位に貼着されるラベルが、前記封緘対象部位の双方に対応して、裏面両側に接着部がもうけられ、且つ、該両側二箇所の接着部の相互間には、前記包装体の封緘対象部位に対して非接着状態の非接着部が設けられ、しかも該非接着部に沿った位置には、前記ラベルを帯状に破断するための帯状破断手段が設けられてなることから、前記包装体の封緘時に於いて、該ラベル裏面両側に設けられた接着部の接着力を強力にすることで、より堅固に把持した状態で該包装体の封緘を維持することができる。

更に、本発明に於ける開封方法では、包装体の封緘対象部位に貼着されたラベルが、前記封緘対象部位の双方に対応して、裏面両側に接着部がもうけられ、且つ、該両側二箇所の接着部の相互間には、前記包装体の封緘対象部位に対して非接着状態の非接着部が設けられ、しかも該非接着部に沿った位置には、前記ラベルを帯状に破断するた

めの帯状破断手段が設けられてなることから、開封時に於いては、前記非接着部を帯状に破断することでラベルを封緘対象部位の相互間の非接着部の位置で破断させることができる。よって、開封作業に際しては前記帯状破断手段を介して破断することができることから、従来の様に、封緘対象部位に強固に接着されたラベルの全面又は一部を無理に剝離させる必要が一切なくなり、ラベルを封緘対象部位に対して強固に接着させた状態であっても前記非接着部を破断させるだけの作業でその開封が非常に容易に行うことができる。

従って、本発明によれば、包装体の封緘の確実性と開封作業性との双方を同時に満足させることができるという格別な効果を有するに至った。

更に、本発明では封緘対象部位に強固に接着されたラベルの部位を無理に剝離させる必要がないことから、封緘対象部位が損傷し易い材質であっても、係る部位を損傷させることがなく、開封後の包装体の体裁を不当に害する様な不都合を適切に解消できる利点がある。

更に、本発明のラベルの裏面に非接着部を設けた場合に代えて仮接着部を設けた場合によれば、封緘対象部位を有しない包装体の開封にも適用できる。

次に、本発明に於ける不正開封防止方法では、開封前に、ラベルを不正に破断することでバーコードも破断することになる。

従って、破断されたラベル及びバーコードは再使用が困難となり、特にバーコードを元の適正なデータ状態に復元することは不可能となる。よって、別の代替えラベルを貼着しても、破断された正規のラベルと全く同一データのバーコードの表示をすることも困難なことから、開封前に破断される不正開封を確実に防止すると同時に、その発見にも寄与できることになる。

又、本発明のラベルの裏面に非接着部を設けた場合に代えて仮接着部を設けた場合によれば、ラベルの仮接着部分を封緘対象部位に仮接着させることにより包装体の封緘を一層密に行える他、ラベルの一部が剝離して他の物品との引っ掛かり等

によりラベルが安易に損傷する虞れも適切に解消できる利点がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の開封方法に於ける使用状態の実施例を示し、同図(イ)は斜視図、同図(ロ)は同図(イ)のY-Y線断面図。

第2図は本発明に於ける封緘用ラベルを示し、同図(イ)は斜視図、同図(ロ)は同図(イ)のX-X線断面図、同図(ハ)は同図(イ)の裏面参考斜視図。

第3図及び第4図は開封時の状態を示し、第3図は斜視図、第4図は要部断面図。

第5図は本発明の使用状態の実施例を示し、同図(イ)は参考斜視図、同図(ロ)及び(ハ)は使用状態斜視図。

第6図は本発明の不正開封防止方法に於ける使用状態の実施例を示し、同図(イ)は斜視図、同図(ロ)は同図(イ)のZ-Z線断面図。

第7図は本発明に於ける不正防止封緘用ラベルを示す。

第8図は不正防止封緘用ラベルの使用状態斜視図。

第9図は他の使用状態断面図。

第10図(イ)、(ロ)、(ハ)は本発明のラベルに於ける他の実施例を示す平面図。

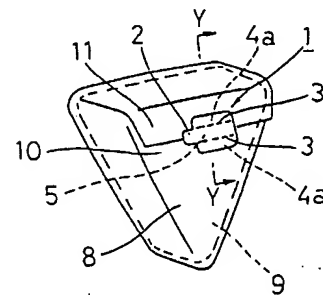
第11図(イ)、(ロ)は他の使用状態を示す斜視図。

第12図は従来例を示す断面図。

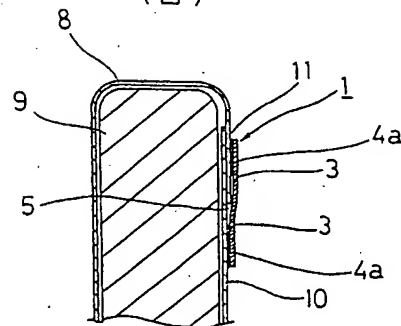
- 1…ラベル 2…摘み片
3, 3…ミシン目線(帯状破断手段)
4a, 4a…接着部 5…非接着部
10, 11…封緘対象部位

出願人 小 野 重 彦
代理人 井理士 藤 本 昇

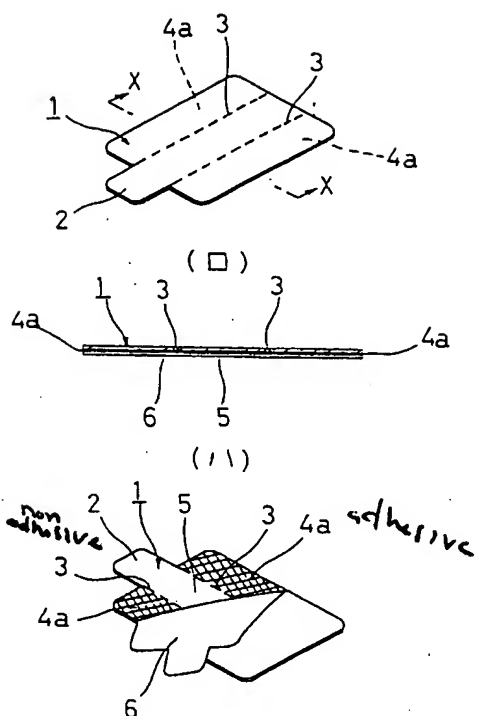
第 1 図
(イ)



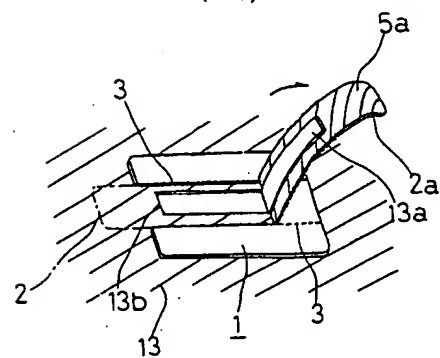
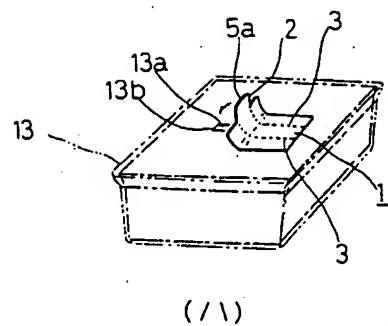
(ロ)



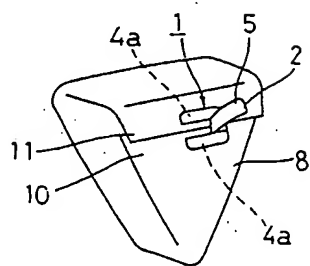
第 2 圖
(1)



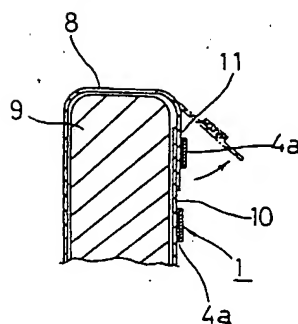
第 5 圖
(□)



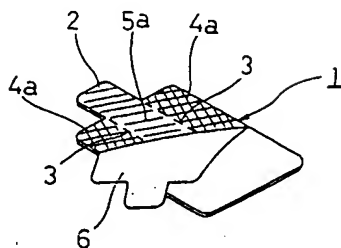
第 3 圖



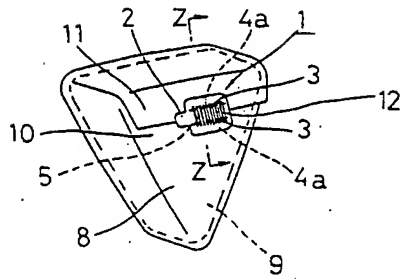
第 4 圖



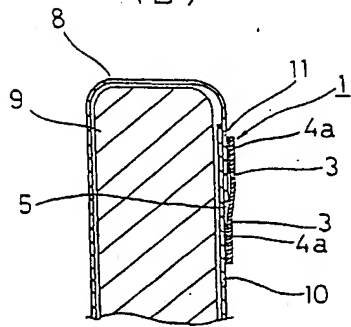
第 5 圖
(1)



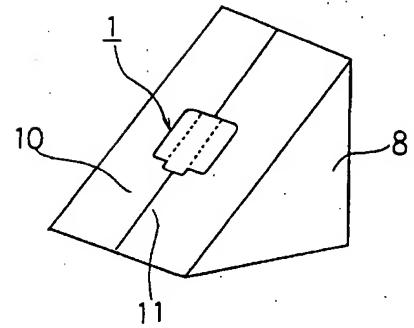
第 6 図
(イ)



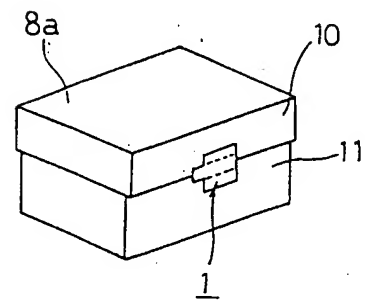
(ロ)



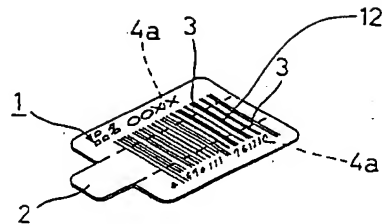
第 11 図
(イ)



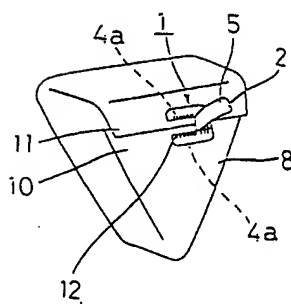
(ロ)



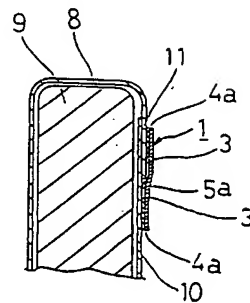
第 7 図



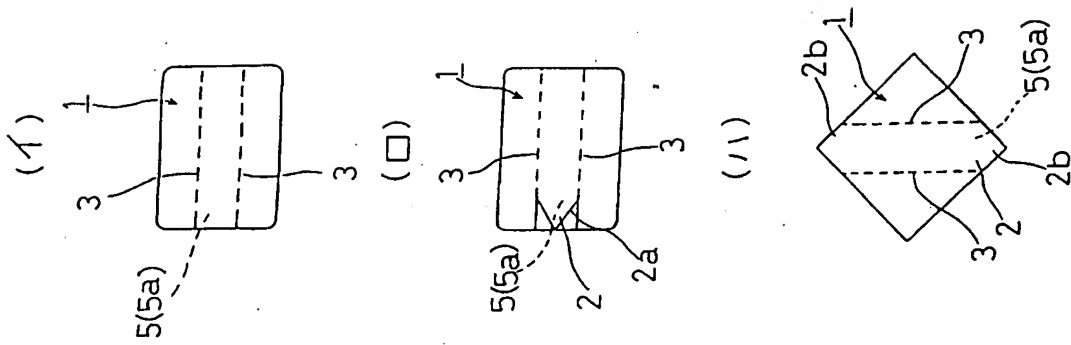
第 8 図



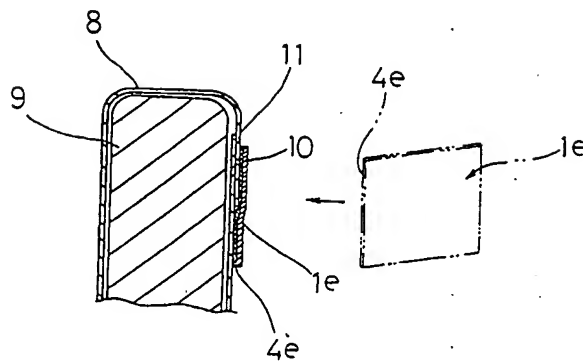
第 9 図



第10図



第12図



PAT-NO: JP403289465A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 03289465 A

TITLE: LABEL SEALING METHOD FOR PACKAGE AND METHOD
FOR
UNSEALING SEALED PACKAGE AND PREVENTING
TAMPERING THEREOF

PUBN-DATE: December 19, 1991

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

ONO, SHIGEHICO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

ONO SHIGEHICO

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP02089537

APPL-DATE: April 3, 1990

INT-CL (IPC): B65D077/36

US-CL-CURRENT: 206/459.5, 206/807

ABSTRACT:

PURPOSE: To permit an easy unsealing operation and prevent package tampering accurately by a method wherein the label provided with a non-adhesive strip-like tear means is attached to a package extending over both its sealing positions and with either of the adhesive parts provided on both the sides of the backside of the label bonded to either of the sealing positions and the other adhesive part bonded to the other sealing position.

CONSTITUTION: A label 1 is provided with an adhesive part 4a at each side of the backside thereof, a non-adhesive part 5 defined therebetween and strip-like

tear means 3 formed along the non-adhesive part 5 to tear off the non-adhesive part 5 into a strip form. A package 8 is sealed by attaching the label 1 thereto extending over its sealing positions 10 and 11 and with either of the adhesive parts 4a provided at both the sides of the backside of the label 1 bonded to either of the sealing positions 10 and 11 and the other adhesive part bonded to the other sealing position.

COPYRIGHT: (C)1991,JPO&Japio

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant:

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.